



三次元CADの特徴を学ぶ学生

三次元CAD利用技術者試験対策講座が9月2日から4日まで、5号館のコンピュータ室で開講された。資格取得を目指す理学部と経営学部の1・2年次生7人が受講。高橋智理工学部准教授の指導で、三次元CADソフト「SolidWorks」を用いた設計やモーリングの手法を学んだことを復習し、2級に合格できるよう頑張った」と語った。

三次元CADは、立体的に設計図を描くシステムで、近年は製品や部品の設計などのづくりで主流となっている。受講生のうち6人は2級、1人は1級を目指しており、12月の試験に向けた勉強を始めた。柴田陽平さん(理工1・山形県山形工業高)は「仕事を生かせる資格なのでスキルアップのために受講した。講座で学んだことを復習し、アート用の手法を学んでいた」と話す。

三次元CAD利用技術者試験対策講座

ソフト用いた設計学ぶ



工作を手伝う鎌田さん(左から2人目)



いかだで海に出る前田さん(中央)と子どもたち

学生スマホアプリコンテスト 経営・舛井ゼミ 2年連続奨励賞



最終審査で機能を説明する千葉さん

アプリケーション開発やWEBサイト制作に取り組む経営学部・舛井道晴ゼミが第7回学生スマートフォンアプリコンテスト(情報処理学会・CDSS/MBL研究会主催)に出場。8月29日、

川県葉山町)で行われた最終審査でプレゼンテーションを行い、2年連続で奨励賞に選ばれた。アンドロイドアプリを作成したのは千葉奈々香さん(3年次・岩手県黒沢尻北高)、三浦聖也さん(3年次・富城県石巻北高)、早坂

千葉奈々香さん(3年次・岩手県黒沢尻北高)、三浦聖也さん(3年次・富城県石巻北高)、早坂

千葉奈々香さん(3年次・岩手県黒沢尻北高)、三浦聖也さん(3年次・富城県石巻北高)、早坂

リボーンアート・フェスティバル

経営学部 庄子ゼミ 地域の魅力発信



在学生にRAFを紹介した=7月19日



深澤さんの作品作りに協力する庄子ゼミ生=7月19日

自然体験合宿に参加 子どもたちサポート

宮城県内の小・中学生30人が参加した自然体験合宿「サマー・チャレンジ in 南三陸」(8月5日)

初めて触れたソフトだつたが、実技を交えた講座で分かりやすかった」と話した。就職活動に向けて資格取得を目指す学生もいる。新井匠さん(経営4・宮城県仙台城南高)は「仕事に生かせる資格なのでスキルアップのために受講した。講座で学んだことを復習し、アート用の手法を学んでいた」と話した。

三次元CADは、立体的に設計図を描くシステムで、近年は製品や部品の設計などのづくりで主流となっている。受講生のうち6人は2級、1人は1級を目指しており、12月の試験に向けた勉強を始めた。柴田陽平さん(理工1・山形県山形工業高)は「仕事を生かせる資格なのでスキルアップのために受講した。講座で学んだことを復習し、アート用の手法を学んでいた」と話す。

最初に子どもたちから感謝のメッセージをもらった時は感極まった。理想の教師を目指し、今後もこのような活動に参加したい」と話した。前田さんは「子どもたちとの接し方に悩んだ7日間だった。必要な場面で、注意することはできなかつたことが反省として心に残っている。今回

の経験を忘れず、教員に必要な知識やスキルを学んでいきたい」と語った。

孫兵衛船競漕に出場、「10人の漕ぎ手が息を合なってきた。来年も参加し、予選を突破したい」と話した。

石巻専修大学

・[石巻専修大学]ホームページ・ <https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/>

石巻専修大学
広報係
TEL: 0986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
FAX: 0225-22-7717(直)

30th
1989-2019
ISHINOMAKI SENSHU University

2019 石鳳祭
10.12(土)
13(日)
テーマ「結」

査であまり認知されていないことが分かり、関心を持ってほしかった」(熊坂さん)と、開幕前の7月19日には経営学部の2~4年次生約140人に向けたプレゼンを行った。RAF実行委員会昨年から一般社団法人の庄子真岐ゼミが協力して、地域の魅力を発信し、産連携プロジェクト「リボーンアート・フェスティバル(RAF)」に経営学部Reborn-Art Festivalと、宮城県石巻高校との高大連携プロジェクト「リボーンアートプロジェクト」を推進し、イベントの認知度向上などに取り組んできた。熊坂和希さん(経営3・福島県保原高)は「石巻の豊かな自然を感じられ、おいしい食べ物にも出会うことができた」と話す。会場は「一見に如かず」。会場に足を運んでほしい」と来場を呼びかける。

RAFは9月29日(日)まで。庄子ゼミは、美術家・バルコキノシタさん、美術家・深澤孝史さんの作品作りにも関わった。

R.A.F.は9月29日(日)まで。庄子ゼミは、美術家・バルコキノシタさん、美術家・深澤孝史さんの作品作りにも関わった。

石巻専修大学では、両日を地域貢献日に設定。孫兵衛船競漕、縄張神社奉納大縄引き大会、流燈、大漁踊り、花火のゴミ拾いに学生、教職員延べ590人が参加し、地域の方々と触れ合いながら、イベントを盛り上げる。

石巻川開き祭り(7月31日、8月1日)が中心市街地で行われた。石巻市の夏を感じる「第96回石巻川開き祭り」

カヌー部の千葉兼汰さん(商業高)は昨年に続き、今年も開催される「アーティストの手かれた作品が生まれる過程に携わることができ、よい経験になった」と話す金田県湯沢高)。「完成した作品は自分が考えていた通りにできている。女子バスケットボールト」を推進し、イベントの認知度向上などを取り組んできた。熊坂和希さんは「RAF実行委員会の松村豪太事務局長も参加し、イベントの魅力を伝えた。

また、ゼミ生たちは会場の一つである「ものらバースで行くこともできるうらビレッジ」に3月から毎月第一週末に足を運び、現代アートも足を運び、現代アートプロジェクト「ボーンアートプロジェクト」を実施する。もものうらビレッジには石巻駅からバスで行くこともできるので、作品に触れてはいい」と話した。

アーティストの手かれた作品が生まれる過程に携わることで、アートは人生を豊かにした。アートとは異なるものに向けたプレゼンを行った。RAF実行委員会の松村豪太事務局長も参加し、イベントの魅力を伝えた。



そろいの浴衣で踊る学生たち(大漁踊り)

勝輝さん(3年次・宮城県石巻商業高)の3人。「年をとるほど時間がたつのが早く感じられる」という現象を数式化した「ジャネーの法則」を取り入れ、予定日に向けた体感日数を表示するスケジュール管理アプリ「Destination, time」を開発した。

アイデアは千葉さんが自身の体験からひらめいた。「今回のコンテストで、自分の発想や着眼点を取り入れ、予定日に向けた体感日数を表示するスケジュール管理アプリ『Destination, time』

『孫兵衛船競漕に出場、「10人の漕ぎ手が息を合なってきた。来年も参加し、予選を突破したい」と話した。

学生らが盛り上げる

ん(経営2・宮城県石巻市)は昨年に続き、今年も開催される「アーティストの手かれた作品が生まれる過程に携わることで、アートは人生を豊かにした。アートとは異なるものに向けたプレゼンを行った。RAF実行委員会の松村豪太事務局長も参加し、イベントの魅力を伝えた。

女子バスケットボールト」を推進し、イベントの認知度向上などを取り組んできた。熊坂和希さんは「RAF実行委員会の松村豪太事務局長も参加し、イベントの魅力を伝えた。

また、ゼミ生たちは会場の一つである「ものらバースで行くこともできるうらビレッジ」に3月から毎月第一週末に足を運び、現代アートも足を運び、現代アートプロジェクト「ボーンアートプロジェクト」を実施する。もものうらビレッジには石巻駅からバスで行くこともできるので、作品に触れてはいい」と話した。